



彩の国
埼玉県

彩の国の道徳

埼玉県道徳教育教材集 ― 現代的な課題をもとに ―

未来に生きる

埼玉県教育委員会

目次

※資料等はそれぞれリンクから参照可能です。

○ 本教材作成の趣旨と活用の仕方について			
○ 情報モラルと現代的な課題の取扱いについて			
○ 埼玉県の前輩にインタビュー！			
◇ 新井 千鶴さん（柔道・寄居町出身）	小一～四年向け	小五・六年、中学生向け	
◇ 赤石 竜我さん（車いすバスケットボール・さいたま市出身）	小一～四年向け	小五・六年、中学生向け	
○ 教材・指導資料			
● 「大すきなタブレットタイム」【小学校低学年（A 節度、節制）】	教材	指導資料	
● 「あさがおのかんさつで」【小学校低学年（A 善悪の判断、自律、自由と責任）】	教材	指導資料	
● 「よろこびはだれに」【小学校中学年（C 規則の尊重）】	教材	指導資料	
● 「流れて行く先」【小学校中学年（D 自然愛護）】	教材	指導資料	
● 「離れていても」【小学校高学年（B 友情、信頼）】	教材	指導資料	
● 「未来を見つめるまなざし」【小学校高学年（C 公正、公平、社会正義）】	教材	指導資料	
● 「最後の思い出」【中学校（B 友情、信頼）】	教材	指導資料	
● 「男らしさ女らしさ、自分らしさ」【中学校（A 向上心、個性の伸長）】	教材	指導資料	
● 「すべての人に読書の楽しさを」【中学校（C 社会参画、公共の精神）】	教材	指導資料	
● 「コロナ禍で気付いたこと」【中学校（C よりよい学校生活、集団生活の充実）】	教材	指導資料	
● 「認め合うこと、高め合うこと」【高校（B 友情、信頼）】	教材	指導資料	
● 「よりよい社会をつくるために」【高校（C 社会参画、公共の精神）】	教材	指導資料	



本教材作成の趣旨と活用の仕方



○作成の趣旨

本教材は、情報モラルをはじめとして、子供たちが直面する現代的な課題や社会的な問題を題材として取り上げ、ねらいとする道徳的価値を子供たちが自分との関わりで深め、多面的・多角的に考えられるよう作成している。

情報モラルと現代的な課題に関する指導については、小・中学校学習指導要領において、その指導の充実が位置付けられており、子供たちが社会的課題を自分との関係において考え、その解決に向けて取り組もうとする意欲や態度を育てることが求められている。

GIGAスクール構想により実現した一人一台端末の環境下においては、子供たちが端末を鉛筆やノート同様に活用することが求められているが、子供たちが適切に、安全に端末を使いこなすためには、情報モラルに関する指導の充実が大切である。そこで本教材では、情報機器を巡って起こる様々な問題を題材として取り扱い、道徳科としての学習の特質を踏まえた上で、子供たちが考えを深めることができるようにしている。また、多様な表現や多様な人々との交流を可能とするなど、情報機器のよい面も取り上げつつ、ねらいとする道徳的価値を深められるよう配慮した。

科学技術の発展に伴う生命倫理の問題や社会の持続可能な発展など、現代的な課題を巡っては、様々な道徳的価値に関わる葛藤が生じる。そこで本教材では、これらの諸課題には多様な見方や考え方があり、短絡的な理解では解決することができないことに気付かせ教材とし、子供たちが多様な価値観をもつ人々と協働して問題を解決していくようとする意欲を育めるよう工夫した。

以上の作成の趣旨を踏まえ、本教材を活用いただきたい。

○活用の仕方

本教材は、「埼玉県の先輩にインタビュー!」「教材」「指導資料」から構成している。電子データによる配布としているため、授業での活用に当たっては、教師による印刷・配布だけでなく、教材データを教師や子供たちの端末にダウンロードして活用することができ

る。

「埼玉県の先輩にインタビュー!」は、埼玉県ゆかりの著名な方へのインタビューから、その著名な方々の考え方・生き方を紹介している。道徳科の終末や校内・学級への掲示等、教師の創意工夫により活用できる。また、対象別に作成しているため、子供たちの発達の段階に合わせて活用いただきたい。小学校低・中学年の児童には、教師や保護者による読み聞かせも効果的である。

「教材」は、小学校低学年から高校まで、発達の段階に合わせて作成されている。なお、教材の対象学年や内容項目は、目次や指導資料に示している。また、教材によっては二次元コードから関連動画へアクセスすることができ、適宜活用すると効果的である。

「指導資料」は、本教材を活用した道徳科の授業の進め方として、学習活動や主な発問の他、指導上の留意点を例示し、具体的に授業をイメージできるようにしている。特に、情報モラルや現代的な課題については多様な見方や考え方があることから、「教材作成の意図と取扱いの留意点」を十分参考にされたい。

道徳科の指導に当たっては、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の生き方（人間としての生き方）についての考えを深める学習となるよう、これらの教材等を活用しながら、指導方法の創意工夫に努めていただきたい。 ※（ ）内は中学校

情報モラルと現代的な課題の取扱い



○情報モラルに関する指導

学習指導要領解説では、情報モラルは、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度と捉え、その内容としては、情報社会の倫理、法の理解と遵守、安全への知恵、情報セキュリティ、公共的なネットワークが例示されている。道徳科においては、道徳の内容との関連を踏まえて、特に、情報社会の倫理、法の理解と遵守といった内容を中心に取り扱うことが考えられる。

社会の情報化が進展する中で、児童生徒は情報機器を日常的に用いる環境の中で生活することが多くなり、学校教育でも児童生徒の実態に応じた対応が求められている。特に、情報モラルを含めた情報活用能力の育成は、教科等横断的な学習により、その充実が求められる。道徳科においては、情報モラルに関する指導について、道徳的価値に関わる学習を行う特質があることを踏まえた上で、情報モラルに関わる題材を生かして話し合いを深めたり、コンピュータによる疑似体験を授業の一部に取り入れたりするなど、創意ある多様な工夫がなされることが期待されている。

例えば、相手の顔が見えないメールと顔を合わせての会話との違いを理解し、メールなどが相手に与える影響について考えるなど、インターネットに起因する心のすれ違いなどを題材とした思いやり、感謝や礼儀に関わる指導が考えられる。また、インターネット上の法やきまりを守れずに引き起こされた出来事などを題材として規則の尊重に関わる授業を進めることも考えられる。その際、問題の根底にある他者への共感や思いやり、法やきまりのもつ意味などについて、児童生徒が考えを深めることができるようにすることが重要であり、情報機器の使い方や具体的な練習を行うことに終始することのないよう留意しなければならない。

○現代的な課題に対する指導

学習指導要領解説には、「今後グローバル化が進展する中で、様々な文化や価値観を背景とする人々と相互に尊重し合いながら生きることや、科学技術の発展や社会・経済の変化の中で、人間の幸福と社会の発展の調和的な実現を図ることが一層重要な課題となる。」と記されている。こうした課題に対応していくためには、社会を構成する主体である私たち一人一人が、高い倫理観をもち、人としての生き方や社会の在り方について、時に対立がある場合を含めて、多様な価値観の存在を認識しつつ、自ら感じ、考え、他者と対話し協働しながら、よりよい方向を目指す資質・能力を備えることが重要であり、こうした資質・能力の育成に向け、道徳教育は大きな役割を担っている。

道徳的価値は、現代社会の様々な課題に直接関わっている。現代社会を生きる上での課題を扱う場合には、問題解決的な学習を行ったり、話し合い（中学校では討論）を深めたりするなどの指導方法を工夫し、課題を自分との関係で捉え、その解決に向けて考え続けようとする意欲や態度を育てることが大切である。食育、健康教育、消費者教育、防災教育、福祉に関する教育、法教育など、学校の特色を生かして取り組んでいる教育課題については、学校の教育活動全体と関連付け、人としてのよりよい生き方に対する考えを深めていくことができるような取組が求められている。

科学技術の発展に伴う生命倫理の問題や社会の持続可能な発展を巡っては、様々な道徳的価値に関わる葛藤がある。現代的な課題には、葛藤や対立のある事象も多いが、児童生徒の発達の段階に応じて、これらの課題には多様な見方や考え方があり、一面的な理解では解決できないことに気付かせ、多様な価値観をもつ人々と協働して問題を解決していこうとする意欲を育てていきたい。

埼玉県先輩に

インタビュー!!

※本資料は、道徳科の終末や校内・学級への掲示等、
創意工夫して活用してください。





柔道
じゅうどう

新井
あらい

千鶴さん
ちづる

(寄居町出身)
よりいまちしゅっしん

東京2020オリンピック競技大会
とうきょう きょう たいかい

女子70キログラム級金メダル・だん体銀メダル
きよう たいぎん

埼玉県の先ばい
さいたまけん せん

インタビュー！



新井千鶴さんって、どんな人？
あらい ちづる

新井さんは、寄居町出身の柔道選手
よりいまちしゅっしん じゅうどうせんしゅ

だよ。東京2020オリンピックでは、
とうきょう

柔道のこ人戦で金メダル、だん体戦で銀メ
じんせん たいせん ぎん
ダルをとったんだ。埼玉県出身者では初の
さいたまけんしゅっしんしゃ はつ
オリンピックこ人競ぎの金メダリストなんだ。
じんきょう



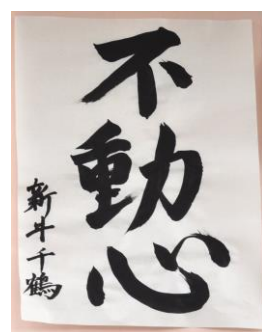
そんな新井さんも、子どもの時は柔道だけではなく
とき
て、勉強、スポーツ、書道や美じゅつ（図工）など、
べんきょう しょうどう び すこう
何事にも真けんに取り組んでいたんだ。それが新井さん
なにごと しん とく
のきそ（土台のこと）になったんだよ。
どだい



大切にしている言葉
たいせつ ことば

Q：新井さんが大切にしている言葉は何ですか？
たいせつ ことば なん

A：「不動心」（何事にも動かない心）です。書道家のそ父が、
ふどうしん なにごと うご こころ しょうとうか ふ
わたしが勝てずになやんでいるときに「ぶれずに千鶴らしくがん
か ちづる
ばりなさい」と言ってかけてくれた言葉です。そ父の思いもすご
い おも
くうれしかったし、わたし自身も本当にその時期の自分にぴった
じしん ほんとう じ き じぶん
りだと思う文字でした。だから、オリンピック（五輪）チャンピ
こりん
オンになった今でもこの3文字を大事にしています。
いま だいじ



ちょこっとメモ

新井さんはいつもは料理を作ることやねることも好きなんだって。
りょうり す

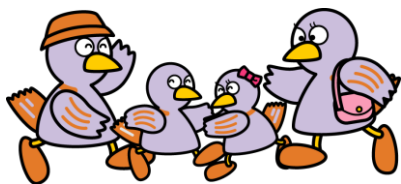
あまいものも大好きで、特に好きなものは埼玉で有名な白いおまんじゅうだとか…。
とく さいたま ゆうめい



家族について

Q：新井さんにとって家族とは？

A：父も母も柔道をやっていたわけではありませんが、子どもが真けんに取り組むことを全力でおうえんしてくれる両親です。両親も兄もそれぞれの場所でがんばっているし、そういうすがたを見てわたし自身もがんばっています。



だから、家族を尊敬（すばらしいと思うこと）していますし、わたし自身もそんな家族を見て、あきらめずに、投げ出さずにがんばれます。

ゆめについて

Q：ゆめをかなえるために大切にすることは？

A：ゆめをかなえるために大切なことは、「自分はどうあるべきか。」と考え行動し、と中で投げ出さずにつづけることです。うまくいかない時も最後まであきらめずにやりぬくことが大切です。

わたしはいつもこのことを考え、自分の成長にエネルギーを注ぐようにしてきました。うまくいかない理由を人のせいにしたり、ほかの人の行動を気にして流されてしまったり、人にいやなことをしてしまったりといった行動は、自分でゆめをかなえることを遠ざけてしまっています。人を思いやる気持ちも大切です。みなさんにも、このような考えや気持ちを大切にしてもらいたいです。



埼玉の子どもたちへ

Q：未来を生きる埼玉の子どもたちへメッセージをお願いします。

A：失敗をおそれずに、いろいろなことに挑戦してほしいです。挑戦するからこそ、当然失敗もあります。でも、その失敗があるからこそ、自分自身の成長につながります。

大切なのは、同じ失敗をくり返さないこと。失敗したときは、自分自身を見つめ直して、どうしたらよくなるのかを考えてみることです。一つ一つの成功を重ねていく日々が成長につながります。

勉強もスポーツも、一つ一つの積み重ねを大切にしながら、みなさんが今取り組んでいる目標に向けてがんばってほしいです。



ちょこっとメモ

寄居町出身の新井さん。家の周りは自然がゆたかで、庭にキジがあらわれたことも…。そんな自然ゆたかなところも、埼玉県のみ力だと教えてくれたよ。埼玉は、新井さんにとってとても落ち着く場所なんだって。





柔道
じゅうどう

新井
あらい

千鶴さん
ちづる

(寄居町出身)
よりいまち

東京2020オリンピック競技大会
女子70kg級金メダル・団体銀メダル

埼玉県の先輩に

インタビュー！

せんぱい



新井千鶴さんって、どんな人？

新井さんは、寄居町出身の柔道選手だよ。東京2020オリンピックでは、柔道の個人戦で金メダル、団体戦で銀メダルをとったんだ。埼玉県出身者では初のオリンピック個人競技の金メダリストなんだ。



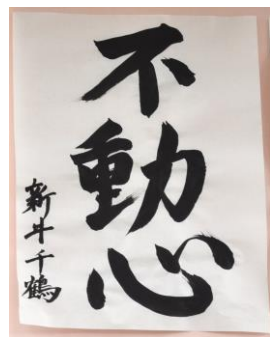
そんな新井さんも、子供の時は柔道だけではなくて、勉強、スポーツ、書道や美術など、何事にも真剣に取り組んでいたんだ。それが新井さんの基礎になったんだよ。



座右の銘

Q：新井さんの座右の銘（大切にしている言葉）は何ですか？

A：「不動心」です。書道家の祖父が、私が勝てずに悩んでいるときに「ぶれずに千鶴らしく頑張らなさい」ということでかけてくれた言葉です。祖父の思いもすごく嬉しかったし、私自身も本当にその時期の自分にぴったりだと思う文字でした。だから、オリンピック（五輪）チャンピオンになった今でもこの3文字を大事にしています。



ちょこっとメモ

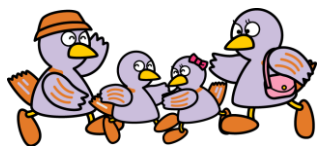
新井さんは普段は料理を作ることや寝ることも好きなんだって。
甘いものも大好きで、特に好きなものは埼玉で有名な白いおまんじゅうだとか…。



家族の存在

Q：新井さんにとって家族の存在とは？

A：父も母も柔道経験者ではないですが、子供が^{しんけん}真剣に取り組むことを全力で^{おうえん}応援してくれる両親です。また、家族はお互いに^{たが}刺激し合っていて、^{いっしょ}一緒に目線で共に戦ってくれる存在です。両親も兄もそれぞれの場所で^{がんば}頑張っているし、そういう姿を見て私自身も頑張っています。



だから、家族は尊敬していますし、私自身もそんな家族を見て、^{あきら}諦めずに、投げ出さずに頑張れます。

夢の実現

Q：夢を実現するためにはどんなことを大切にしていけばいいですか？

A：夢を実現させるために大切なことは、「自分はどうかあるべきか。」と考え行動し、途中で^{とちゅう}投げ出さずに^{けいぞく}継続することです。上手くいかない時も最後まで^ぬあきらめずにやり抜く姿勢が大切です。

私は常にこのことを考え、自分の成長にエネルギーを注ぐようにしてきました。上手くいかない理由を人のせいにしたり、他人の行動を気にして流されてしまったり、人にいやなことをしてしまったりといった行動は、自分で夢の実現を遠ざけてしまっています。人を思いやる気持ちも大切です。みなさんにも、このような考えや気持ちを大切にしてもらいたいです。



埼玉の子供たちへ

Q：未来を生きる埼玉の子供たちへメッセージをお願いします。

A：失敗を^{おそ}恐れずに、いろいろなことに挑戦してほしいです。挑戦するからこそ、当然失敗もあります。でも、その失敗があるからこそ、自分自身の成長につながります。

大切なのは、同じ失敗を^く繰り返さないこと。失敗したときは、自分自身を見つめ直して、どうしたら良くなるのかを考えてみてください。一つ一つの成功を重ねていく日々が成長につながります。

勉強もスポーツも、一つ一つの積み重ねを^{がんば}大切にしながら、みなさんが今取り組んでいる目標に向けて頑張ってください。



ちょこっとメモ

寄居町出身の新井さん。家の周りは自然が豊かで、庭にキジが^{かんきょう}現れたことも…。そんな自然豊かな環境も、^{みりよく}埼玉県の魅力だと教えてくれたよ。埼玉は、新井さんにとってとても落ち着く場所なんだって。





埼玉県の先ばい

インタビュー!!



車いすバスケットボール

東京2020パラリンピック競技大会・男子銀メダル



赤石 竜我さん

(さいたま市出身)



あかいしりゅうが

赤石竜我さんって、どんな人？

赤石さんは、さいたま市出身の車いすバスケットボールの選手だよ。

東京2020パラリンピックでは、チームの最年少メンバーとして銀メダルをとったんだ。

赤石さんは、5さいのときにかかった病気によって車いす生活を送ることになったんだけど、子どもの時は、友だちといっしょに外でドッチボールやバスケットボールをやったり、友だちの自転車に車いすですついて行ったりと、外で遊ぶのが大好きで元気な子どもだったんだ。



車いすバスケットとの出会い

Q：赤石さんにとって車いすバスケットとの出会いはどのようなものですか？

A：子どもの時は、車いすの自分がとてもいやでした。体を動かすことは大好きでしたが、50メートル走だとぶちぎりでビリ…。いつもくやしい思いをしていました。

いつか歩けるようになって、スポーツをやりたいという思いがありました。それが、中学生の時に東京パラリンピックが決まってから、「東京パラリンピックに出る」というゆめができました。車いすバスケットと出会って、ゆめや目標ができましたし、何より生きがいができました。



ちょこっとメモ

インタビューをした時、赤石さんは大学3年生。車いすバスケットと大学生活とどちらもがんばるのはとても大変なんだって。だから、お休みの日は大好きなマンガを1日ゆっくり読んで、気持ちを切りかえているそうだよ。



くる
苦しくても…

くる
Q：車いすバスケットをやっていて苦しいときや
つらいときはありましたか？

A：車いすバスケットを本気でやめようと思ったことが一回ありました。高校1年生の時、同年代の選手が大会に出て活やくしている中、自分が置いていかれているのがすごくつらかったです。

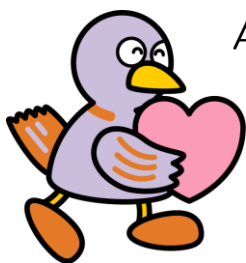
でも、なぜその時やめなかったのかというと、自分の中でゴールを決めたからです。日本代表なんて「ゆめのまたゆめ」のような実力だったので、まずは1年後の大会を目標にしてあと1年だけがんばろう、と決めました。

大きな目標も大切ですが、小さな目標を一つずつ立てていくことで、ここまで続けることができました。



はは
母について

かた
Q：赤石さんをここまでささえてくれた方は？



A：多くの人のささえがありましたが、その中でも一番よくをささえてくれたのは母です。人生の中で一番つらかった時を知っているのが母です。母がいてくれたからこそ、今日まで続けることができたと思っています。

銀メダルをとったときは、はずかしくて自分の口では伝えず手紙で気持ちを伝えました。母のたん生日に、手紙と銀メダルをずっとわたして…。母も喜んでくれました。

さいたま
埼玉の子ども
たちへ

みらい
さいたま
Q：未来を生きる埼玉の子どもたちへ
メッセージをお願いします。

A：ゆめをかなえるためには、はずかしがらずに口に出してください。ぼくは中学生の時から車いすバスケットを始めましたが、始めたばかりの時から「ぼくは東京2020パラリンピックに出る！」ということを口に出し続けてきました。

人に無理だと言われたり、うまくいかないこともありましたが、それでもぼくは口に出し続けてきました。東京パラリンピックでも、「メダルをとる」と言い続け、結果を出すことができました。自分を変えられるのは自分。待っているだけではだめです。みなさんも、本気でかなえたいと思うことは、ぜひ口に出して言うてみてください。



ちょこっとメモ

さいたま
車いすバスケット日本代表の合言葉は「一心（いっしん）」。

一人一人の置かれている立場はちがっても、メダルをとりたいという思いでチームの心が一つになったから、今回の銀メダルという結果につながったそうだよ。





埼玉県の先輩に

せんぱい

インタビュー!!



車いすバスケットボール

東京2020パラリンピック競技大会・男子銀メダル

あかいし りゅうが

赤石 竜我さん

(さいたま市出身)



赤石竜我さんって、どんな人?

赤石さんは、さいたま市出身の車いすバスケットボールの選手だよ。

東京2020パラリンピックでは、チームの最年少メンバーとして銀メダルをとったんだ。

赤石さんは、5歳の時に発症した病気によって車いす生活を送ることになったんだけど、子供の時は、友だちといっしょに外でドッチボールやバスケットボールをやったり、友だちの自転車に車いすで付いて行ったりと、外で遊ぶのが大好きで活発な子供だったんだ。



車いすバスケットとの出会い

Q：赤石さんにとって車いすバスケットとの出会いはどのようなものですか？

A：子供の時は、車いすの自分にコンプレックスがありました。体を動かすことは大好きでしたが、50m走だとぶっちぎりでビリ…。いつも悔しい思いをしていました。

いつか歩けるようになって、スポーツをやりたいという思いがありました。それが、中学生の時に東京パラリンピックが決まってから、「東京パラリンピックに出る」という夢ができました。車いすバスケットと出会って、夢や目標ができましたし、何より生きがいがありました。



ちょっとメモ

インタビューをした時、赤石さんは大学3年生。車いすバスケットと大学生活との両立は本当に大変だそう。そんな赤石さんの趣味はマンガを読むこと。休日は1日ゆっくりマンガを読んで気分転換をしているそうだよ。



苦しくても…

Q：車いすバスケットをやっていて苦しいときや
つらいときはありましたか？

A：車いすバスケットを本気でやめようと思ったことが一回ありまし
た。高校1年生の時、同年代の選手が大会に出て活躍かつやくしている中、
自分が置いていかれているのがすごくつらかったです。

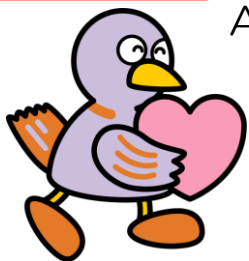
でも、なぜその時やめなかったのかというと、自分の中でゴールを決めた
からです。日本代表なんて夢のまた夢のような実力だったので、まずは1年
後の大会を目標にしてあと1年だけ頑張がんばろう、と決めました。

大きな目標も大切ですが、小さな目標を小刻みに立てていくことで、ここ
まで続けることができました。



母の存在

Q：赤石さんをここまで支えてくれた方は？



A：多くの人の支えがありましたが、その中でも一番僕ぼくを支え
てくれたのは母です。人生の中で一番つらかった時を知っ
ているのが母です。母の存在があったからこそ、今日まで続け
ることができたと思っています。

銀メダルをとったときは、恥はずかしくて自分の口では伝え
ず手紙で気持ちを伝えました。母の誕生日に、手紙と銀メダルをずっと渡わたして
…。母も喜んでくれました。

埼玉の
子供たちへ

Q：未来を生きる埼玉の子供たちへ
メッセージをお願いします。

A：夢を実現させるためには、恥はずかしがらずに口に出し
てください。僕は中学生の時から車いすバスケットを始めまし
たが、始めたての初心者はつしやの時から「僕は東京2020パラリ
ンピックに出る！」ということを口に出し続けてきました。

人に無理だと言われたり、スランプもありましたが、そ
れでも僕は口に出し続けてきました。東京パラリンピック
でも、「メダルをとる」と言い続け、結果を出すことがで
きました。自分を変えられるのは自分。待っているだけで
はだめです。皆みなさんも、本気で実現させたいと思うことは、
ぜひ口に出して言ってみてください。



ちょこっとメモ

車いすバスケット日本代表の合言葉は「一心（いっしん）」。
それぞれ立場や状況は違っても、メダルをとりたいという思いでチームの心が一
つになったから、今回の銀メダルという結果につながったそうだよ。



